

ふるた のぼる
古田 昇

Furuta Noboru



文学部 文化財学科 教授

研究者略歴

○生年月

○学歴

立命館大学 文学部 地理学科卒業(1984.3)

立命館大学 大学院 文学研究科修士課程修了(1986.3)

立命館大学 大学院 文学研究科博士後期課程単位修得(1989.3)

○学位

文学修士(立命館大学/1986.3)

博士(文学) (徳島文理大学/2001.11)

○主な職歴

学校法人 聖母女学院中学・高等学校 教諭 (1989.4~1997.3)

学校法人 徳島文理大学 専任講師 (1997.4~2002.3), 助教授(2002.4~2005.3)

学校法人 徳島文理大学 教授 (2005.4~現在に至る)

○専門分野

自然地理学、環境歴史学、GIS

○所属学会

日本地理学会、人文地理学会、日本第四紀学会、

和歌山地理学会、地理情報システム学会ほか

○担当授業科目

環境歴史学概論、自然地理学、歴史地理学、地理学A、地理学B、

地理学実習、文化財演習Ⅰ、文化財演習Ⅱ、研究入門、文化財基礎実習、

卒業研究、地域地形学特講(大学院)

○現在の研究

歴史時代の地形環境と生活環境とのかかわりについての環境歴史学的研究

GIS・GPSを用いた防災・減災に関わるデジタルマッピングシステムの研究

主な業績

○主な学会
・社会活動等

①日本地理学会 災害対応委員会 地域拠点委員 (2008.4.~現在)

②人文地理学会 庶務委員 (1988.9~1990.8)

③大阪府高等学校社会科研究会 理事(1991.4~1997.3)

④大阪府私学高等学校社会科研究会常任幹事 (1991.4~1997.3)

⑤和歌山地理学会 編集委員 (2000.4~2005.3)

⑥(社)日本理科教育振興協会

「その道の達人」, 「平野の歴史の達人」(2005.9~2009.9)

⑦国土交通省国土地理院治水地形分類判定委員四国地区委員長 (2009.9~)

○主な研究論文
・著書等

①『平野の環境歴史学』古今書院 (2005.8)

②鳥取県日野川下流域における更新世末期以降の地形発達史、立命館文学 (1985.3)

③樫井川の段丘地形と灌漑一日根荘近傍の地形環境一、和歌山地理 (1995.12)

④徳島県吉野川・鮎喰 川下流域平野の沖積層の形成過程、立命館地理学 (1996.12)

⑤学界展望一自然環境・災害、人文地理(2002.6)

⑥A Change of the Geomorphological Environment of the Historical Age and Human Activities (2010.3)

⑦泉大津市史『第1巻(上)』地形・地質編、(2004.3)